ため池データを利用するための操作手順

Ⅰ　水土里情報システムへのログイン　---------- 2

Ⅱ　ため池定期点検データ　---------- 3

　１．レイヤの表示　---------- 3

　２．データの表示　---------- 3

　３．ため池の検索　---------- 5

　４．データの出力　---------- 6

Ⅲ　貯水池データ　---------- 7

Ⅳ　自分専用のMAPの作成　---------- 9

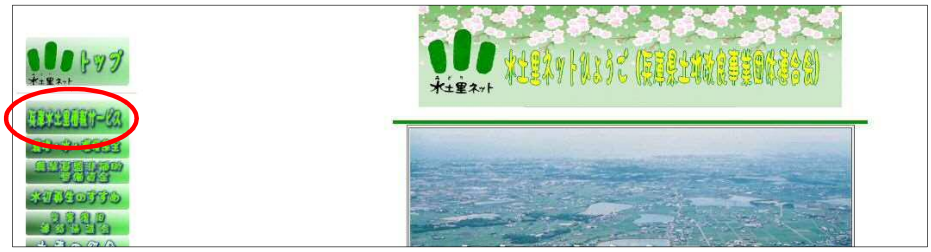
Ⅴ　操作マニュアル　---------- 13

平成28年5月

兵庫県土地改良事業団体連合会

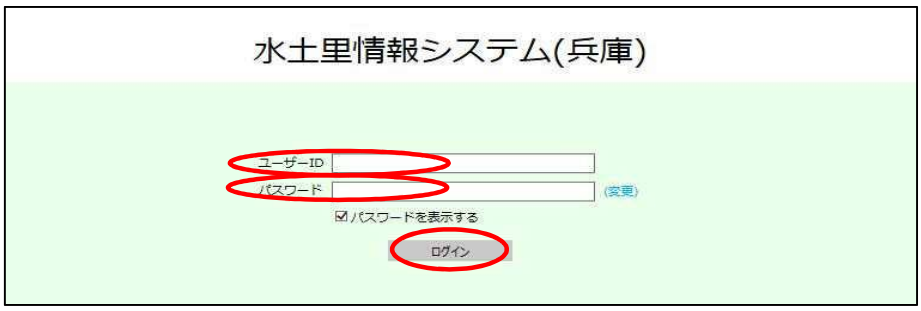
Ⅰ 水土里情報システムへのログイン

① 水土里ネット兵庫のホームページを開き、「兵庫県水土里情報サービス」をクリックします。



② ここをクリックします。

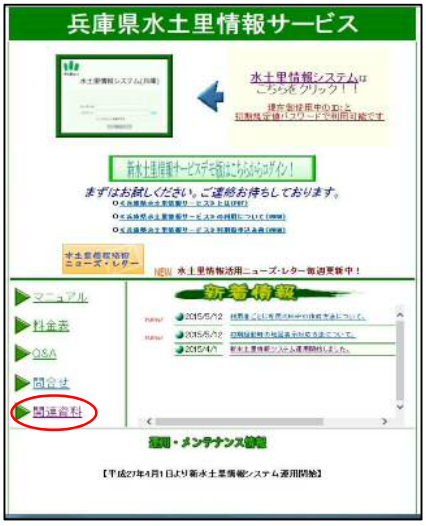
③ ご自分の「IDとパスワード」を入力、ログインボタンをクリックします。



初期のパスワードは「Password!」です。

初めての利用で、右のエラーが出た場合は

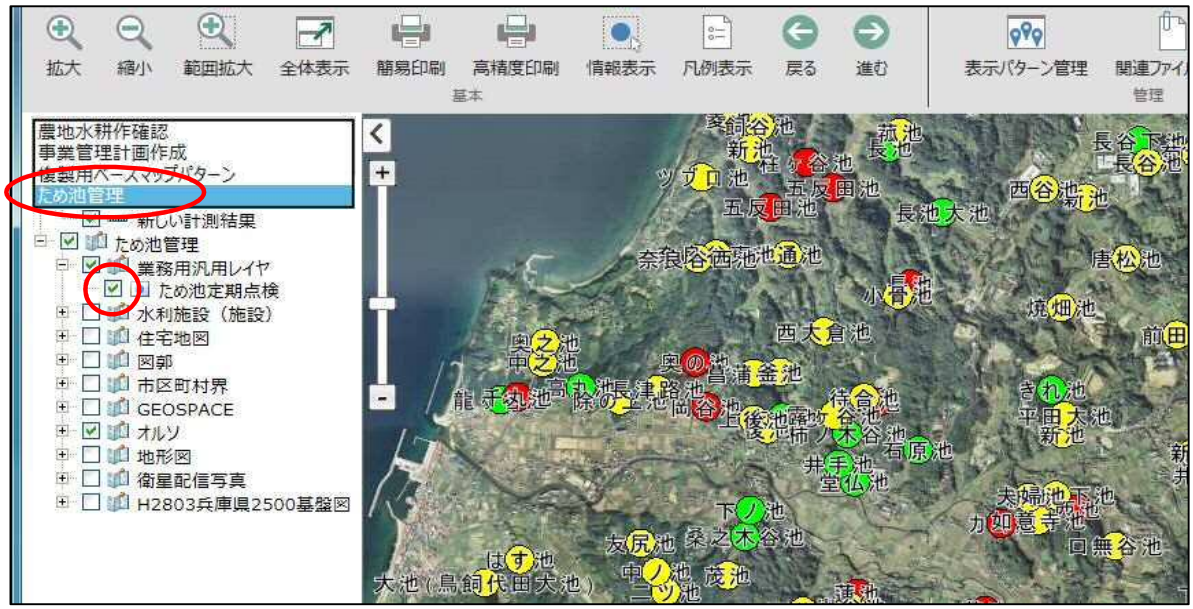
ホームページの「関連資料」から、「初期起動時の地図表示に対応」の手順により地図を表示させます。



Ⅱ ため池定期点検データ

1. レイヤの表示

① レイヤ選択枠のプルダウンから「ため池管理」を選択します。



② 「業務用汎用レイヤ」の中の「ため池定期点検」にチェックを付けます。

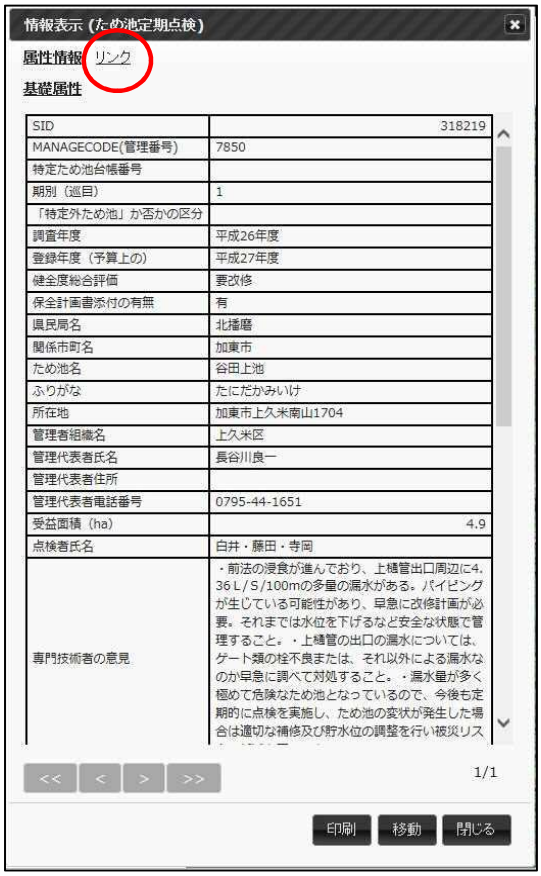
2. データの表示

点検の結果は、その点の属性情報として登録しており、その表示手順は次のとおりです。

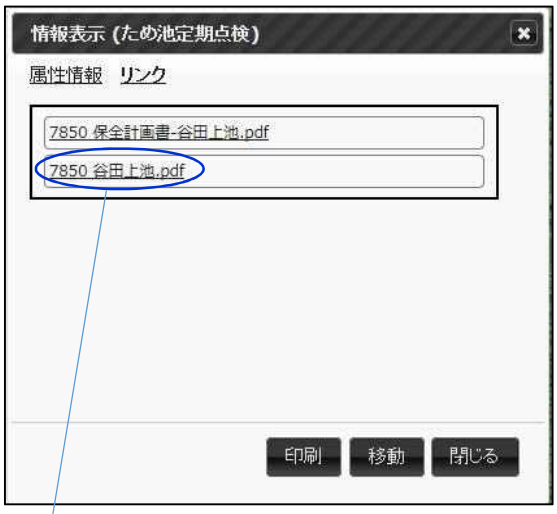
① 「ホーム」タブの「情報表示」をクリック

② レイヤ選択画面から、
「ため池定期点検」を選択し、
「確定」をクリック

③ 対象とする池を画面上でクリックすると、
赤くハイライトします。
そのまま、再度クリックすると、次頁の情報
表示画面が開きます。



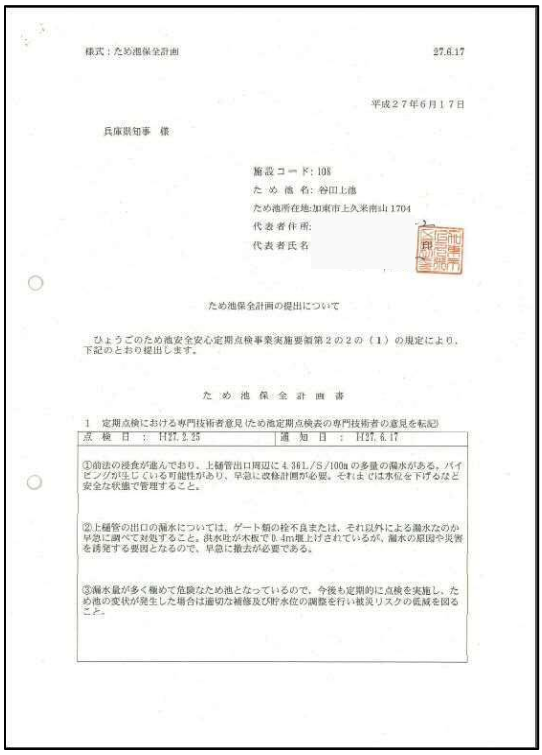
④「リンク」をクリックすると、関連ファイルとして「定期点検表」と「保全計画書」を見ることができます。



「管理番号 ため池名.pdf」は、定期点検表です。

点検表のPDF

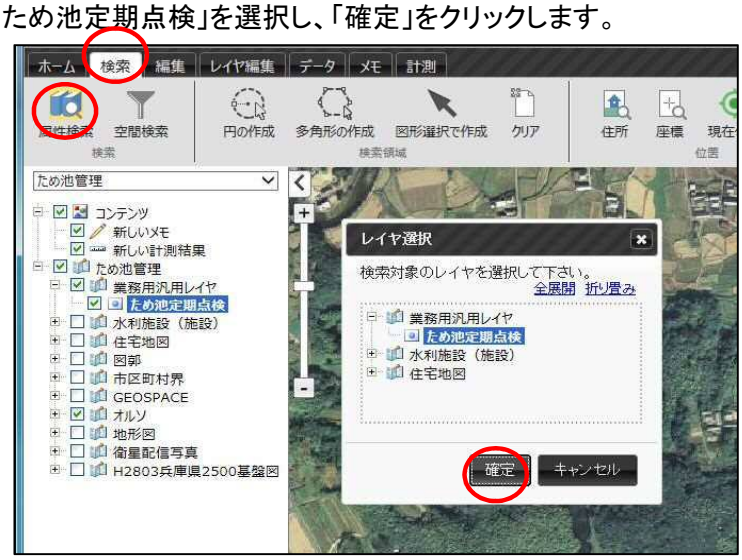
保全計画書のPDF



3. ため池の検索

①「検索」タブの「属性検索」をクリックします。

②「ため池定期点検」を選択し、「確定」をクリックします。



③「属性検索」画面に、検索対象を入力し、「検索」をクリックします。

④ 検索結果が表示されます。 複数表示された場合は、住所等で対象の池を選びます。
一行に属性が入った状態で表示されますので、帳票で見るには、その行をクリックし、青くハイライトした状態で「情報表示」をクリックします。

⑤ 属性が表示されます。

⑥「移動」をクリックすると、その池を画面の中央に表示します。

4. データの出力及び入力項目

① 3の①、②の手順により「属性検索画面」を表示させます。

② 県内のすべてのデータを出力するには、条件を入れないで、「検索」をクリックします。

③ 検索結果が表示されるので、そのまま「CSV出力」をクリックします。

CSV形式のデータでダウンロードされます。
エクセルなどに取り込み、ご利用ください。

出力件数は10,000件以内です。
検索条件で、出力数を絞ってください。

④ 属性内容は下記のとおりです。

項目名	内容	項目名	内容
SID	システムが自動で振る番号　変更不可	点検時貯水位	
MANAGECODE(管理番号)	1施設1番号　検索などで利用	漏水評価 S-	
特定ため池台帳番号		浸食率評価 S-	
期別（巡目）	現在は1巡目	前法 陥没・穴の評価 S-	
「特定外ため池」か否かの区分	「特定外ため池」の場合のみ入力	後法部評価 S-	
調査年度		堤頂 陥没・穴の評価 S-	
登録年度（予算上の）		堤頂 ひび割れの評価 S-	
健全度総合評価		余裕高評価 S-	
保全計画書添付の有無	添付ファイルがあると「有」	洪水吐 Co・石積箇所の評価 S-	
県民局名		洪水吐 障害物の評価 S-	
関係市町名		洪水吐能力の評価 S-	
ため池名		取水施設の評価 S-	
ふりがな		漏水量(l/s/100m)	
所在地		前法構造	
管理者組織名		前法浸食率	
管理代表者氏名		余裕高(m)	
管理代表者住所		現況の洪水吐能力(m3/s)	
管理代表者電話番号		安全柵の有無	
受益面積（ha）		禁止看板の有無	
点検者氏名		予備1	
専門技術者の意見		予備2	
堤高(m)		予備3	
堤長(m)		予備4	
貯水量(m3)		予備5	
点検年月日			

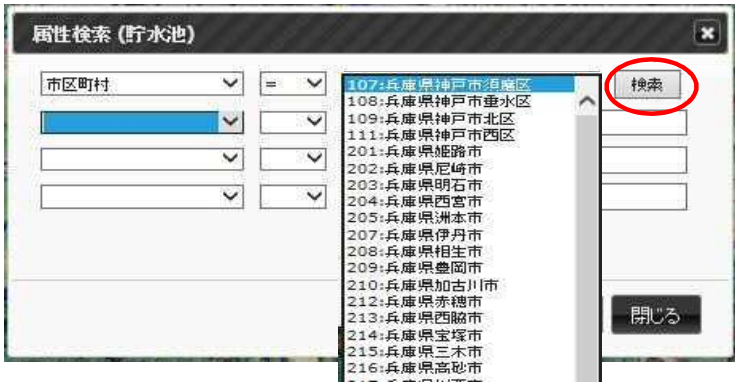
Ⅲ. 貯水池データ

「防災ため池台帳」と、ため池概略調査で使用した「ため池実態把握の調査票」の内容は「貯水池レイヤ」に入力しています。

データの表示や検索、出力などは「ため池定期点検データ」とほぼ同様です。

① 「貯水池」レイヤは、水利施設（施設）の中にあります。

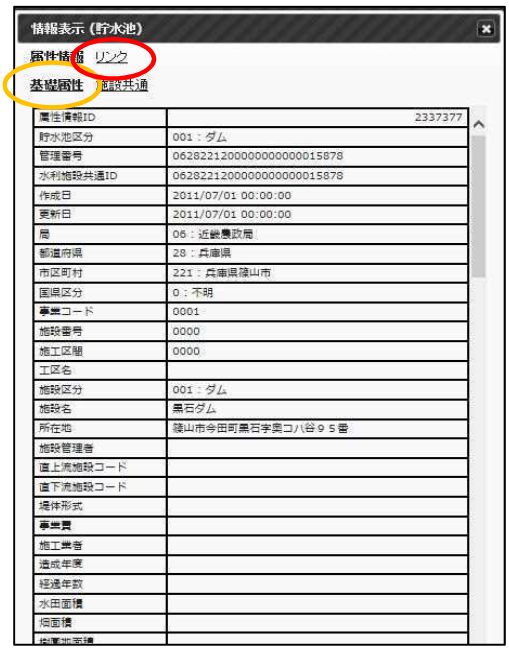
チェックを付けて表示させます。

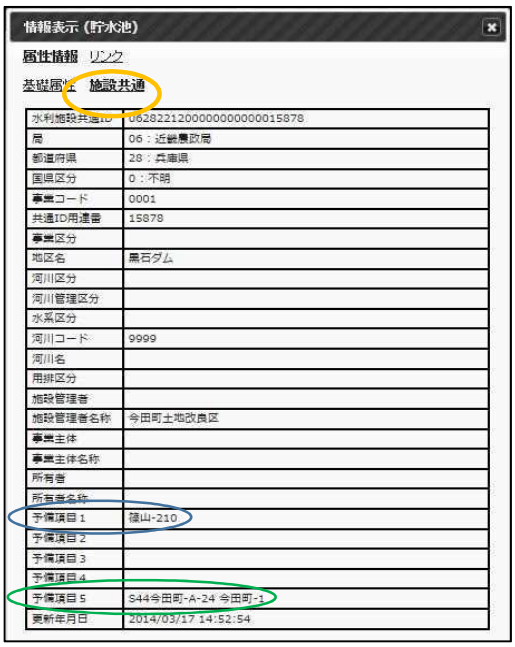


② 「貯水池」の属性では、市町村名など、事前にコードとして登録された項目があり、その場合「検索」ボタンが表示されます。

必要な検索条件を入力してください。

③ 貯水池の属性は基礎属性と施設共通に分かれています。

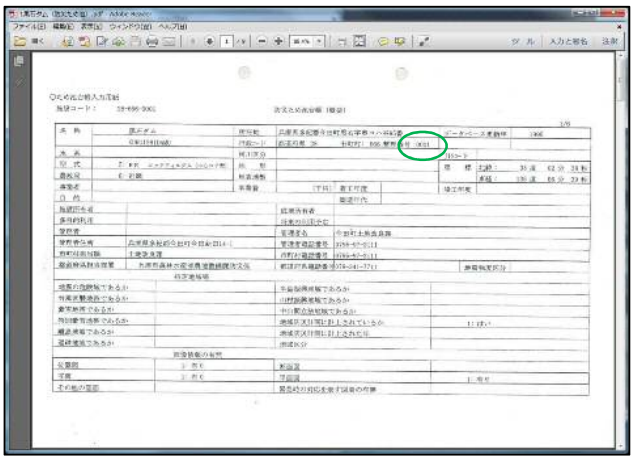




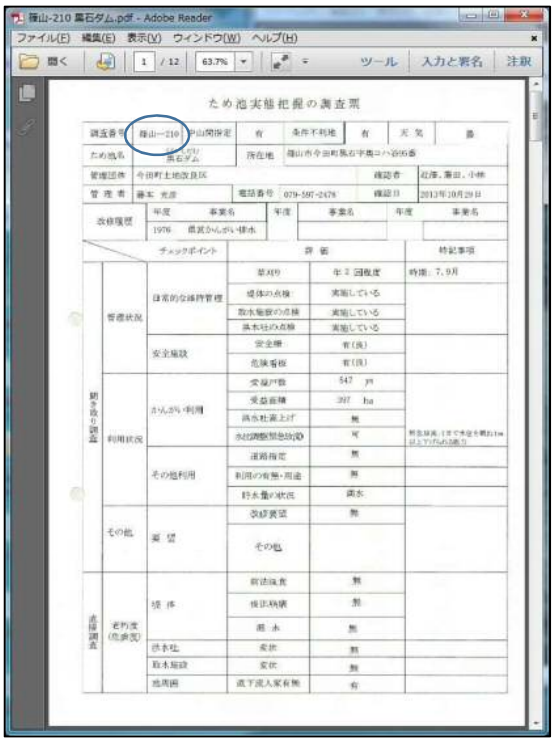
施設共通の「予備項目1」に、「ため池実態把握の調査票」の調査番号を、「予備項目5」に、調査票の「特記事項」に記載の「昭和44年のため池台帳番号」や「防災ため池台帳番号」を入力しています。

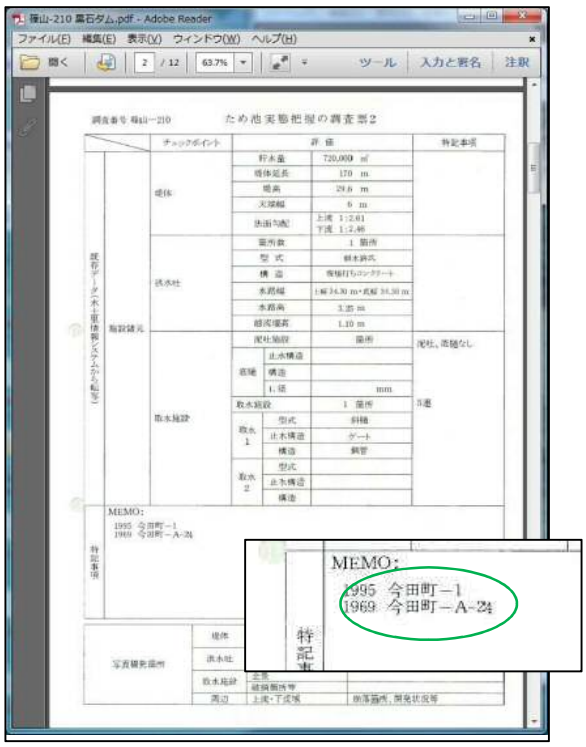
④リンクとして「防災ため池台帳」と「ため池実態把握の調査票」のPDFを貼っています。

防災ため池台帳のPDF



ため池実態把握の調査票のPDF





Ⅳ. 自分専用のMAPの作成

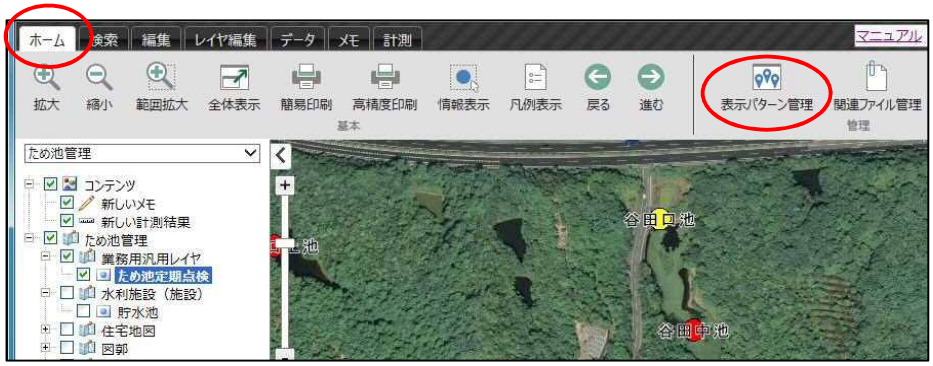
手順書で説明している「ため池定期点検」レイヤは「水土里管理者0」が作成したもので、利用者は参照のみ可能です。
利用者が自由に色分けやラベル表示をするには、自分専用MAPを作ることが必要です。

自分専用MAPの作成手順は、ホームページの「関連資料」に「最初に自分専用のMAPを作成するには」に表示していますが、以下は「ため池定期点検」レイヤを基に自分専用MAPを作成し、色分けやラベル表示をする手順を説明します。

現在は、健全度総合評価を基に色分けしており
- 異状なし
- 要保全計画作成
- 要改修

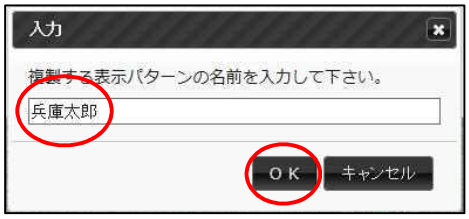
ラベルは黒色で「ため池名」です。

① 「ホーム」タブの「表示パターン管理」をクリックします。



② 「ため池管理」を選択、青くハイライトさせ、「複製」をクリックします。

③ 最初は名前が「Copy-ため池管理」になっています。
他の人のMAPと区別するため、「兵庫太郎」などの名を入力し、「OK」をクリックします。



④ 表示パターンに「兵庫太郎」が追加されました。「閉じる」をクリックします。

⑤ レイヤ選択枠のプルダウンから「兵庫太郎」を選択します。

「兵庫太郎」のMAPの中の「ため池定期点検」レイヤは編集することができます。

⑥ ため池名を表示し、絵柄は□、「異常なし」を緑色、「要保全計画作成」を黄色、「要改修」を赤色にする。

この例の表示手順は次のとおりです。

① 「ため池定期点検」を選択します。

② 「編集」タブをクリックします。

③ 「レイヤ設定」をクリックします。

① 「基本設定」タブをクリックします。

② ここでは「レイヤの表示縮尺」を制限なし、にします。

① 「描画設定」タブをクリックします。

② 「正方形(塗り)」を選択します。

③ 「13×13　px 」をクリックします。

④ 「OK」をクリックします。

位置が「正方形(塗り)」で表示されました。

次に色分けを行います。

① 「編集」タブをクリックします。

② 「色分け設定」をクリックします。

① 「設定方法」を選択し、チエックします。

② 「次へ」をクリックします。

① 「健全度総合評価」をクリックします。

② 「次へ」をクリックします。

① 「次へ」をクリックします。

① 「自動生成」をクリックします。

② 評価別の色分けが、表示します。

① 項目を選択します。

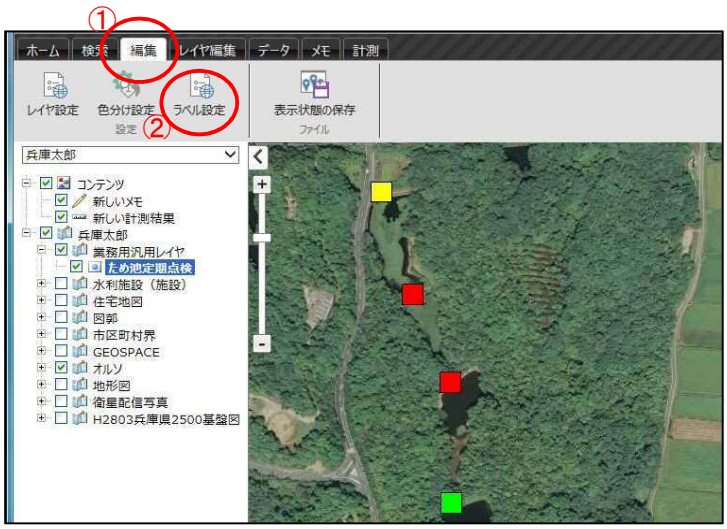
② 色のプルダウンをクリックします。

③ 必要な色を選んで「OK」をクリックします。

④ 「変更」をクリックします。

⑤ 「完了」をクリックします。

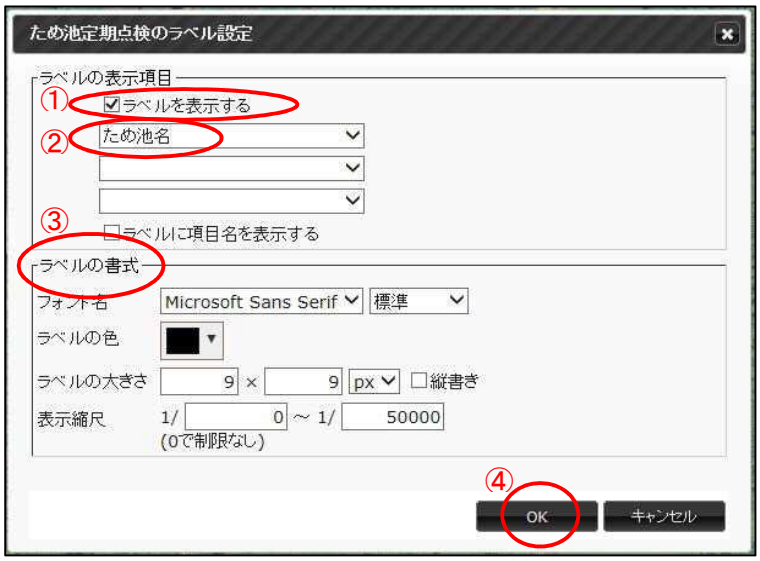
必要のない項目は選んで「削除」をクリックします。



色分けができました。

次にラベル表示を行います。
① 「編集」タブをクリックします。

② 「ラベル設定」をクリックします。



① 「ラベルを表示する」にチェック。

② 「ため池名」を選択します。

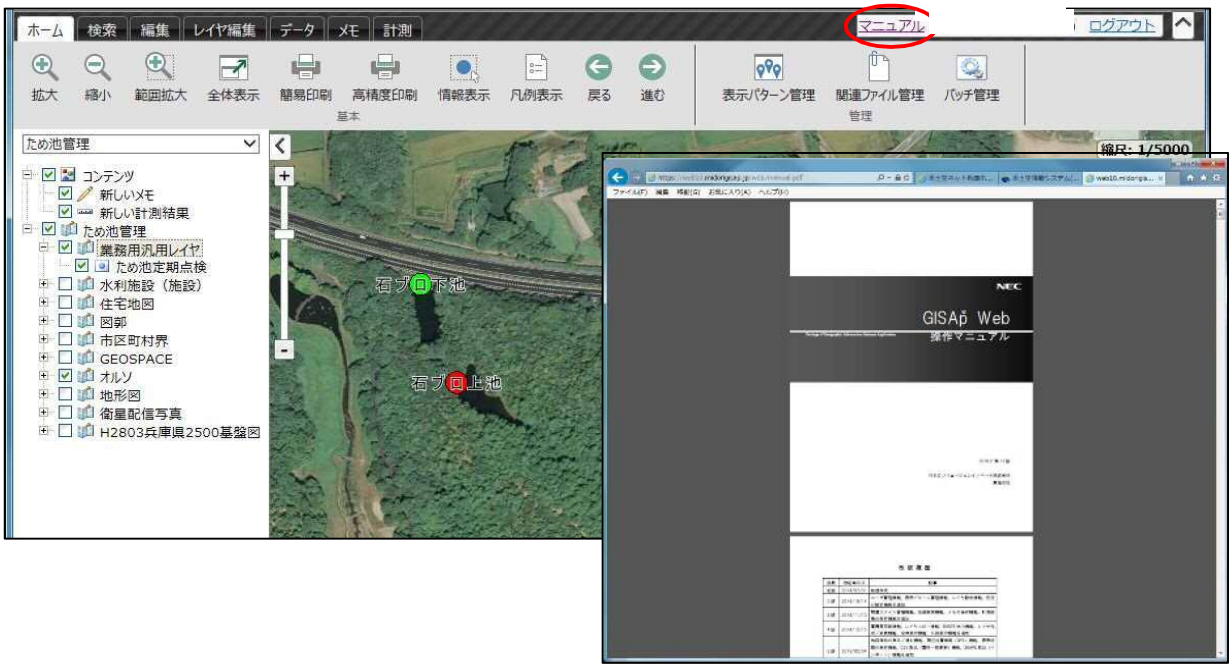
③ 「ラベルの書式」を設定します。

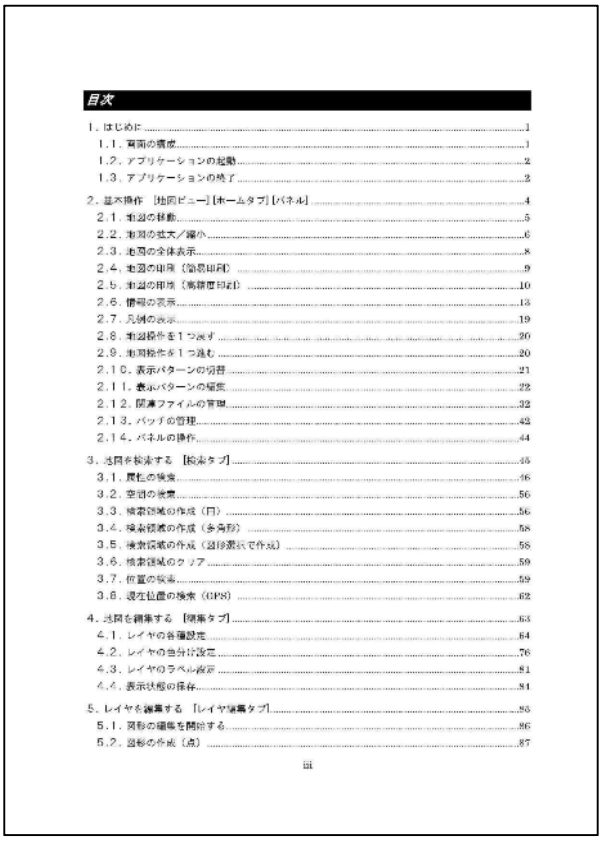
④ 「OK」をクリックします。

完成です。
現在の地図の表示状態を保存する場合は、「編集」タブの「表示状態の保存」をクリックします。
次回起動時に保存された表示状態が反映されます。

Ⅴ. 操作マニュアル

水土里情報システムの操作マニュアルは、画面の右上の「マニュアル」をクリックします。

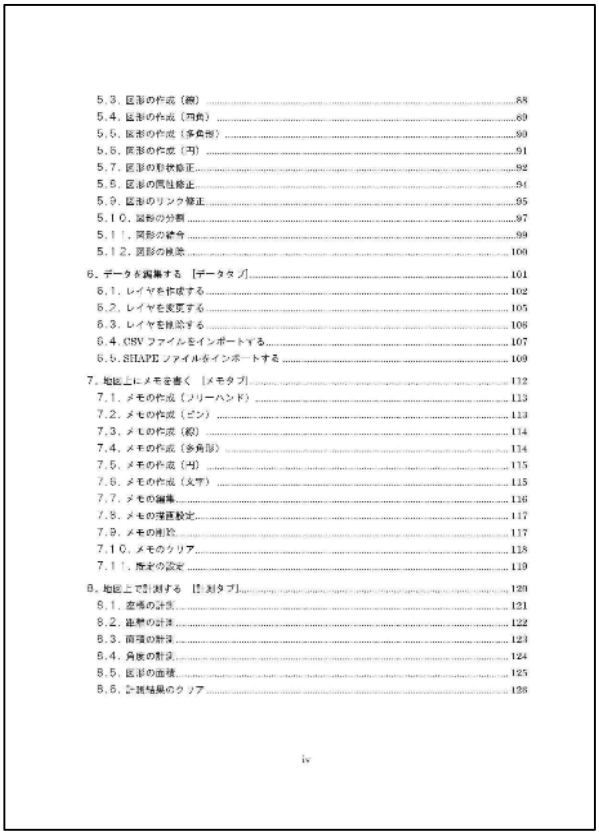




目次

1. はじめに 1
1.1. 画面の構成 1
1.2. アプリケーションの起動 2
1.3. アプリケーションの終了 2
2. 基本操作 [地図ビュー][ホームタブ][パネル] 4
2.1. 地図の移動 5
2.2. 地図の拡大／縮小 6
2.3. 地図の全体表示 8
2.4. 地図の印刷（簡易印刷） 9
2.5. 地図の印刷（高精度印刷） 10
2.6. 情報の表示 13
2.7. 凡例の表示 19
2.8. 地図操作を１つ戻す 20
2.9. 地図操作を１つ進む 20
2.10. 表示パターンの切替 21
2.11. 表示パターンの編集 22
2.12. 関連ファイルの管理 32
2.13. バッチの管理 42
2.14. パネルの操作 44
3. 地図を検索する [検索タブ] 45
3.1. 属性の検索 46
3.2. 空間の検索 56
3.3. 検索領域の作成（円） 56
3.4. 検索領域の作成（多角形） 58
3.5. 検索領域の作成（図形選択で作成） 58
3.6. 検索領域のクリア 59
3.7. 位置の検索 59
3.8. 現在位置の検索（GPS） 62
4. 地図を編集する [編集タブ] 63
4.1. レイヤの各種設定 64
4.2. レイヤの色分け設定 76
4.3. レイヤのラベル表示 81
4.4. 表示状態の保存 84
5. レイヤを編集する [レイヤ編集タブ] 85
5.1. 図形の編集を開始する 86
5.2. 図形の作成（点） 87

iii



5.3. 図形の作成（線） 88
5.4. 図形の作成（四角） 89
5.5. 図形の作成（多角形） 90
5.6. 図形の作成（円） 91
5.7. 図形の形状修正 92
5.8. 図形の属性修正 94
5.9. 図形のリンク修正 95
5.10. 図形の分割 97
5.11. 図形の結合 99
5.12. 図形の検索 100
6. データを編集する [データタブ] 101
6.1. レイヤを作成する 102
6.2. レイヤを変更する 105
6.3. レイヤを削除する 106
6.4. CSV ファイルをインポートする 107
6.5. SHAPE ファイルをインポートする 109
7. 地図上にメモを書く [メモタブ] 112
7.1. メモの作成（フリーハンド） 113
7.2. メモの作成（ピン） 113
7.3. メモの作成（線） 114
7.4. メモの作成（多角形） 114
7.5. メモの作成（円） 115
7.6. メモの作成（文字） 115
7.7. メモの編集 116
7.8. メモの属性設定 117
7.9. メモの削除 117
7.10. メモのクリア 118
7.11. 指定の設定 119
8. 地図上で計測する [計測タブ] 120
8.1. 座標の計測 121
8.2. 距離の計測 122
8.3. 面積の計測 123
8.4. 角度の計測 124
8.5. 図形の面積 125
8.6. 計測結果のクリア 126

iv

目次の上をクリックすると、そのページに移動し、詳しい操作マニュアルを表示します。